

サンプル

海外助成（和文）

公益財団法人自然保護助成基金
理事長 有賀 祐勝 様

代表者が日本人の場合や、申請書の作成者が日本人の場合、和文の申請書のみの提出でも構いません。

第33期（2022年度）プロ・ナトゥーラ・ファンデーション助成 海外助成申請書（和訳）

1. プロジェクト名

絶滅危惧種XXXの保全

内容を簡潔に表現したものにしてください。

2. 申請団体

| | | | |
|---------------|--|------|-------------------------|
| 団体名 | XXX 保全グループ | | |
| 申請代表者 | (Prof.,Dr.,Mr./Ms.) 氏名： | | 国籍： |
| 所属機関・役職 | ABC大学 生物学部 | | |
| 住所 | 自宅か所属機関どちらかの住所をお書きください。 (自宅/所属機関) | | |
| 電話 | 自宅： | 事務所： | |
| e-mail | 連絡は主にe-mailを用いますので連絡のつくアドレスをお書きください。 | URL | グループのWebサイトがあればお書きください。 |
| 申請代表者の学歴・研究実績 | 枠のサイズを広げないでください。記入しきれない場合は、本プロジェクトに特に関連の深い研究実績等のみお書き下さい。 | | |

申請者の所属先（大学など）の名前ではなく、プロジェクトグループ名としてください。

3. プロジェクトの種類（一つ選択してください。）

- 生物多様性の保全 陸域・水域の保全 自然保護のための手法の開発 環境教育
 その他

4. プロジェクトの概要（200字程度）

本プロジェクトにおいて、本グループは何を目的としているのか、明確にお書きください。

送金時のレートにより、申請金額と送金額が異なる場合があるということを、あらかじめご了承ください。申請書には、現在のレートで円に換算してお書きください。

5. 申請金額

1,500,000 円 (US\$ 13,500) 1\$ = 111 円 換算

この申請書は、プロ・ナトゥーラ・ファンデーション助成の審査にのみ使用し、その他の目的では使用いたしません。公益財団法人自然保護助成基金個人情報保護に関する基本方針にのっとり、適切に取り扱いいたします。

プロジェクト計画書

1. プロジェクトの目的

(1) 本プロジェクトの到達目標を簡潔にお書きください。(100字程度)

明確に、そしてできるだけ具体的にお書きください。

(2) プロジェクトにおける、自然保護上の重要性について、簡潔にお書きください。(100字程度)

XXXはIUCNレッドリストにおいて絶滅危惧種(CR)に指定されており

個体数が減り続けているにもかかわらず・・・

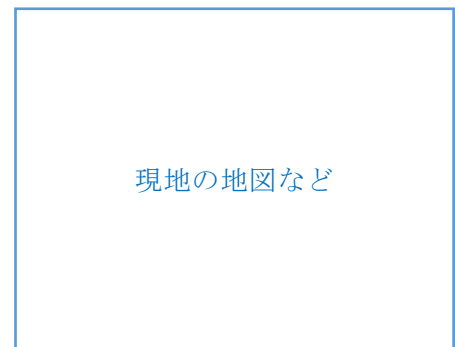
フォントのサイズを大きくしたり、太字にしたりして要点が一目で明瞭にわかるよう適宜工夫してください。

(3) 本プロジェクトで扱う問題の背景と、どのようにして本プロジェクトについて、説明してください。

※注意※

- フォントサイズは英文も和文も10ポイント以上。
- 設問ごとに字数制限はありません。ただし、ページ内に収まるようにお書きください。
- 写真や図を載せる際は、モノクロでも見分けの付く範囲内をお願いします
- ページを決して加えないでください。

(4) プロジェクトの実施場所について、地図や写真、図などを用いて説明してください。



2. 方法

(1) どのように「1. プロジェクトの目的」の「(1) 目標」をクリアしていくのか、調査手法、活動方法について簡潔にお書きください。

どのような戦略で、どのようなツールを用い、どのような分析手法を用いるのかなどについてお書きください。

(2) 予算計画において特記すべき点があれば、お書きください。

一つの費目に対する支出が多い場合は、その理由をお書きください。

(3) プロジェクトメンバーについて特記すべき点があれば、お書きください。

プロジェクトメンバーの専門性や、本プロジェクトにおける役割についてお書きください。

- 字数制限はありませんので、設問ごとに回答スペースを調整してください。
- (2)と(3)の設問については、特記すべき事項がなければ空欄で結構です。
- ただし、ページ数はオーバーしないようご注意ください。

3. 期待される成果

- (1) 本プロジェクトにおいて期待される成果を簡潔にお書きください。（100字程度）

- (2) 期待される成果の詳細について、今後別の研究や活動に活かせるかどうかも含めて、お書きください。

本プロジェクトが今後どのように展開されていくのかについても、お書きください。

4. プロジェクトのスケジュール

| 年/月 | 内 容 |
|--------------|---|
| 2022年 10月 | 助成決定. 前期受領書を事務局に送付. |
| 11月 | フィールド調査 |
| 12月 |  <p>調査や活動が数カ月間に及ぶ場合は↓で示してください. 行の高さは適宜調節してください.</p> |
| 2023年 1月 | |
| 2月 | |
| 3月 | 中間報告書提出 |
| 4月 | 後期受領書を事務局へ送付 |
| 5月 | |
| 6月 | |
| 7月 | |
| 8月 | |
| 9月 | プロジェクト終了 |
| 10月 | 最終報告書, 会計報告書を提出 |
| 11月か 12月 | 成果発表会(オンライン) |

5. 申請団体のメンバー

| プロジェクトにおける役割 | 氏名 | 所属 |
|--------------------------|----|----|
| 責任者 | | |
| 副責任者 | | |
| 会計担当者 *日本人メンバーをご担当下さい | | |
| | | |
| | | |

日本人プロジェクトメンバーの名前と役割も含めてください。日本人メンバーが会計担当をしてください。

6. 日本人メンバー

| |
|--|
| 氏名 |
| 所属機関/団体, 役職 |
| 住所 (自宅, 所属機関) |
| 郵便番号 _____ 国 _____ |
| 電話番号 _____ 携帯電話番号 _____ E-mail アドレス _____ |
| 学歴・研究実績 |

7. これまでの実績

本申請に関連する出版実績, イベントの開催実績, 活動実績などをお書きください。

a) 著者 (発表年), 論文タイトル, 雑誌名, 巻 (号) : ページ番号.

b)

c)

必ずしも申請代表者の実績である必要はありませんが, 本申請の内容に関連するものに限ります。

8. 他の助成金への申請状況

他機関の助成に申請中の場合には, 下記に機関名と金額を記入してください。

| |
|--|
| |
|--|

アンケート

(アンケートの記述のない申請書は受け付けません。記述内容は選考に影響しません。)

I 申請代表者の本助成への応募は何回目ですか。

初めて ・ 2回目 ・ 3回目 ・ 4回目以上 ・

グループとしては応募経験あり (回) ←応募回数をお書き下さい。

II 過去に、申請代表者は本助成の助成金を得たことがありますか。ある場合は回数をお書き下さい。

ない ・ 1回 ・ 2回 ・ 3回 ・ 4回以上

グループとしては採択経験あり (回) ←これまでの採択回数をお書き下さい。

III 今回の助成の詳細は、何で知りましたか。

当財団のWebページ/Facebook ・ 助成金情報サイト ・ メーリングリスト ・

友人/知人から ・ その他 ()

IV 募集要項について、気になった点、わかりにくかった点があればお書き下さい。また、申請書で書きにくかった項目があればお書き下さい。

V プロ・ナトゥーラ・ファンド助成に関するご意見・ご要望があれば、お書き下さい。

VI プロ・ナトゥーラ・ファンド助成で、今後新たに取り組むと良いと思われる自然保護の課題があれば、お書き下さい。

チェックリスト

- 記入漏れ、記入ミスはありませんか？
- ページ数はアンケートを含め7ページに収まっていますか？
- アンケートは記入しましたか？
- 支出計画書は記入しましたか？

ご協力ありがとうございました。

支出計画書(1)

助成申請額

| |
|----------------|
| US\$12,900.00 |
| YEN: 1,498,500 |

自動的に算出されます。
←記入しないでください。

1\$= 111(現在のレート)

↑お手数ですが日本円に換金してください
(別紙「助成金費目一覧表」を参照)

US\$の合計金額は、申請書の申請金額と相違がないようにしてください。
円に換算した際、1000円未満の単位は四捨五入してください。
申請書の1ページ目には、四捨五入した単位をお書きください。
(この場合は、1,500,000円と申請書にはお書きください)。

| 費目 | 内訳 | 単価 | 数量 | 小計 |
|-------------|---------------------------------|----------|----|------------|
| a.器具・備品費 | カメラ | \$500.00 | 8 | \$4,000.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$4,000.00 |
| b.消耗品費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$0.00 |
| c.委託費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$0.00 |
| d.賃金・謝金 | 野外調査スタッフへの賃金 | \$100.00 | 40 | \$4,000.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$4,000.00 |
| e.旅費 | 日本人メンバーの調査地への旅費 (日本ー調査地, 往復) | \$900.00 | 2 | \$1,800.00 |
| | ガソリン代 | \$50.00 | 20 | \$1,000.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$2,800.00 |
| f.交通・通信・運搬費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| (合計) | | | | \$0.00 |

- ・「費目一覧」をよくご覧ください。
- ・行が不足する場合は行を追加してください。
- ・なお、複数行追加によりページに収まらない場合は、ほかの費目の行を一部削除してください。

支出計画書(2)

| 費目 | 内容 | 単価 | 数量 | 小計 |
|---------------|--------------|----------|-------------|------------|
| g.図書・資料費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$0.00 |
| h.印刷費 | 調査データの印刷費 | \$1.00 | 1000 | \$1,000.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$1,000.00 |
| i.会議費 | 会議[日付]の際の昼食代 | \$10.00 | 10 | \$100.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$100.00 |
| j.借用費 | 分析ツールキットの借用費 | \$100.00 | 10 | \$1,000.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$1,000.00 |
| k.雑経費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$0.00 |
| l.助成成果発表会出席経費 | | | | \$0.00 |
| | | | | \$0.00 |
| | (合計) | | | \$0.00 |
| 助成申請額合計 | | | \$12,900.00 | |

日本人メンバーは必ず成果発表会にご出席ください。この場合、オンラインにて参加頂くため、出席経費の計上は無しにてお願いします。